

# そうだ、図書館へ行こう！

お気に入りの一冊を探しに図書館へ

近年、日本人の活字離れが指摘されています。文化庁が行っている「国語に関する世論調査」によると、マンガや雑誌を除く1カ月の読書量は、「読まない」と回答した人が最も多く、47.5%にのぼりました。一方で、県立図書館の人口一人あたりの個人貸出冊数は、4年連続で全国1位と、福井の「読書に親しむ」という県民性が明らかになっています。

小浜には、市立図書館（白鬚）と県立若狭図書学習センター（南川町）の2館があり、恵まれた読書環境が整っています。日暮れが早まり、夜が長く感じることや、気候的に過ごしやすことから、「秋」は読書に最適な季節と言われています。10月27日（金）から始まる読書週間に前にお気に入りの本を探しに、図書館へと足を運んでみませんか。



お話し会やブックスタートなど、さまざまな読書活動を通して、本に親しむ環境づくりに取り組む、市民ボランティアグループの風夢。代表の津田さとみさん（59歳・生玉・写真中央奥）に話を聞きました。

子育ての中で親と子が寄り添い、たくさん本を読み、幸せな時間を過ごしてほしいです」と呼びかけます。良書には人をひきつける力があると話す津田さん。「子どもたちへの読み聞かせを通して、作者、読み手、子どもたちがつながり、一体感と共にも喜びがもたれる、とてもやりがいのある活動です」と笑顔をみせます。

風夢では、「大人が楽しむお話し会」を開催するなど、幅広い年代に読書機会の増加を推進しています。「読書体験は人間の想像力を養います。相手の気持ちを想像するという力は、仕事や人間関係においても重要です。また、本から得られる知識は心の潤いとなります。人が生きていく中で、読書はとても大切なことだと思えます」

## 本を読むすばらしさをみんなに



## おばま児童文学会 風夢

絵本の感動や美しい言葉、声の心地よさを地域の子どもたちに伝えることを目的に、市民有志が平成12年に設立。現在は10人が所属。13年から市内小学校で読み聞かせをスタート（本年度は7校で実施）。同年に始めた図書館でのお話し会も、毎年20回程実施している。ほかに、「大人が楽しむお話し会」や、6カ月健診の参加親子を対象にした「ブックスタート」など幅広く活動している。



### 10月、11月は「読書週間」

10月27日（金）から11月9日（土）までは（公社）読書推進運動協議会が定める「第71回読書週間」です。読書週間は、昭和22年に、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと、出版社や書店、公共図書館などにより始まりました。また、10月27日は、「文字・活字文化の日」に制定されています。

### 「ブックスタート」で心のふれあい

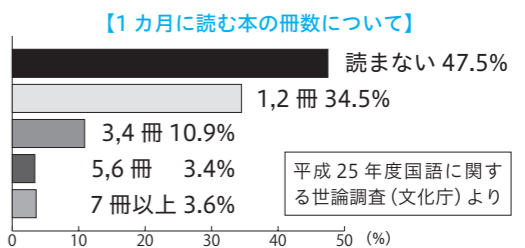
市では、平成26年度から毎年、健康管理センターでの6カ月健診時に、読み聞かせの時間を設けるとともに、絵本を贈呈しています。赤ちゃんと保護者が絵本を介して、心ふれあうひとときを持つきっかけづくりを目的にした事業です。同時に子どもがワクワクする絵本のリストも配布しています。

### 県立図書館の貸出冊数4年連続日本一！

（公社）日本図書館協会の「都道府県図書館の統計」によると、福井県立図書館（若狭図書学習センター含む）の人口一人あたりの個人貸出冊数は平成24年～27年度までの4年連続全国1位となっています。また、図書館の入館者数（人口比）も25年から3年連続全国2位となっています。

### 1カ月の読書量は「読まない」が47.5%

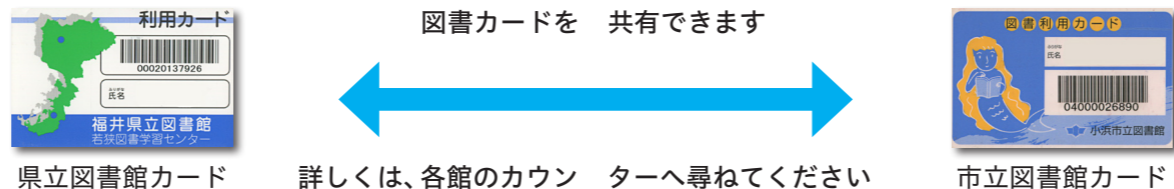
文化庁の「平成25年度 国語に関する世論調査（全国の16歳以上の男女が対象）」によると、1カ月の読書量（マンガ・雑誌を除く）は、「読まない」が最も多く47.5%。次いで「1,2冊」の34.5%でした。平成14年度調査と比較すると、「読まない」の割合は、約10ポイント増加しています。



# 地域の図書館を 利用しよう！！

小浜市立図書館

福井県立若狭図書学習センター



**県立若狭図書学習センター**

**開館** 平日 9時～19時  
休日 9時～18時

**休館** 月曜日(祝日・夏休み期間は開館)・祝日の翌日・第4木曜日(2階図書フロアのみ)・年末年始

**住所** 南川町 6-11

**電話** 52・2705

**蔵書** 約28万冊

**貸出** 1人10冊まで14日間

**小浜市立図書館**

**開館** 平日 10時～19時  
(12月～3月は18時まで)  
休日 9時～17時

**休館** 火曜日・第4水曜日・第3日曜日・祝日・年末年始

**住所** 白鬚 112  
白鬚業務棟内 4～6階

**電話** 52・1042

**蔵書** 約18万6千冊

**貸出** 1人10冊まで14日間



**生涯学習機能を持った複合施設**

生涯学習の充実を図るために、館内1階に多目的ホールや講堂、学習情報コーナーなどを設け、学習活動および交流・表現ができる場となっています。

**本に関する多彩なイベント**

「ウェルカム！こども企画(10月22日⑩ほか)」ではお話し会や演奏会、体験などの企画事業を毎月開催しています。ほかにも、「まごころ古本市(10月28日①)や「雑誌プレゼント(10月28日①)～11月5日⑩ほか)」のような、本に関する多彩なイベントを定期的に実施しています。

**豊かな蔵書でお迎え**

県立若狭図書学習センターでは、一般書約20万冊、郷土資料約3万6千冊、児童書約4万4千冊を取りそろえ、各コーナーでさまざまな本の特集を展示しています。ほかに、ビデオルームで視聴できるビデオや、大活字資料、外国語資料もあります。

**ギャラリーやホールも館内に**

館内4階には、絵画展や写真展などに使える市民ギャラリーや、多人数の読書会や図書館の本を活用した体験イベントなどを行う交流ホールがあります。

**リラクセスして読める環境**

一般書の郷土資料コーナーには、小浜のものを中心に、県内の郷土資料が数多く置いてあります。ほかにも、実用書から雑誌、マンガなど、幅広いジャンルを置くことで、多くの人がリラックスして本を読める環境づくりに努めています。

**子ども連れでも安心利用**

市立図書館では、一般書(6階)と児童書(5階)のフロアが分かれ、カウンターも別々にあるので、子ども連れの家族でも気兼ねなく利用できます。児童書の蔵書冊数は、約6万2千冊と充実しています。特に絵本は新刊から昔のものまで幅広く取りそろえています。



図書館利用者  
増田 寛子 さん、  
樹人くん、あかりちゃん  
(中央後ろから・37歳、  
8歳、6歳・南川町)

### 新しい本との出会いがたくさん

去年、家族で小浜に引っ越してきたのですが、図書館が家の近くにあるのがうれしいです。夏休みの間は、本を借りたり、企画イベントに行ったり、みんな何度か足を運びました。兄は歴史や料理の本に興味を持ち、妹は絵本が大好き、母も企画展から新しい作家の本を読み出すなど、図書館には本との「出会い、がたくさんあります。

### 企画のお知らせ

**テーマ展示「セリフで選ぶ物語」**

県では、秋の読書週間に合わせた期間に「福井県内公共図書館利用促進事業」として、図書館員がすすめる本の展示を一齐に実施します。本年度のテーマは、「セリフで選ぶ物語」で、読書週間が始まる10月27日(金)から開始する予定です。

※実施状況や期間は各館による



図書館利用者  
岡 俊伸 さん、和世さん、  
倫世ちゃん、駿之介くん  
(左後ろから・37歳、  
36歳、6歳、4歳・小浜)

### 子どもたちと一緒に本を楽しむ

いつも子どもたちと一緒に本を読みながら楽しんでいます。最近では、お姉ちゃんが弟に本を読み聞かせたりもしています。図書館には、家族で2週間に1度は行きます。児童書だけのフロアがあり、子どもが自分で本を選んだり、読みやすい雰囲気があります。司書さんがいろいろ「本の相談」にのってくれるのもうれしいですね。

### 企画のお知らせ

**テーマ展示「私の好きな一冊」**

読書週間(10月27日～11月9日)に合わせて、職員が本をおすすめする企画展を、一般書・児童書の両コーナーで実施します。

**雑誌コーナーを一新!**

雑誌コーナーのリニューアルを行い、新しい雑誌を順次入れていきます。貸し出し・予約の解禁日は発売の1カ月後になります。